

答申(案)に対し各委員から出された意見

番号	ページ	内 容(赤字に変更)
1	1	○一つ目の・語尾に付加 〜〜 つくることができるか 考えていく転換期である
2	1	○「洞爺町全体が」→「洞爺湖町全体が」 ○洞爺町全体⇒洞爺湖町全体？
3	1	○二つ目の・語尾に付加 〜〜 大人の役目である。
4	1	○三つ目の・三行目に挿入 〜〜 洞爺湖町の魅力を 胆振管内はもとより、全道、全国 〜
5	1	○諮問に対する答申が整理されているが、端的な内容確認部分が明確ではない。P1の「はじめ に」の中段にある「審議をとおして」の3つの「・」は、大きな方向性を示す重要な視点である。 事務局の「小中一貫教育」「義務教育学校」に関する主張が弱く、公共施設の環境整備についても予算的観点を含めるべきと考える。この「・」の詳細は、第1部、第2部と関連づけた構成が適切である。 「はじめに」のページが町民に届くことで、審議会の答申として理解され、今後の資料として活用されることが期待される。そのため、「・」を2つ追加し、「小中一貫、義務教育学校」に関する記述と、公共施設を含めた社会教育関連の記述を加えることを提案する。
6	1	○ 〜〜 皆様にも共有され、 本町で 学ぶすべての 〜
7	5	○項目(見出し)のスタート位置 p5(3)学校及び教育関連施設の状況 ⇒(4)町財政の状況 など
8	9	○の展開を図ります。が改行されていた。
9	9	○「…、支援を行ないます。」→「支援を行います。」
10	12	○目次「2 各種計画における方向性(3)」 〜改訂版とありますが、本文の見出しには改訂版の文言がありません。
11	21	○(2段落目「なお、〜」) 結論を1つにまとめ 〜〜 示すことを基本:下線で強調
12	21	○「1 洞爺湖町立学校における特色ある学校づくり」の3行目「議論」を「熟議」に ワークショップ形式で 熟議を重ねてきた。
13	22	○第4回のワークショップの簡単なまとめについて挿入できないか。そのことで、7つのキーワードが出され、第5回のワークショップでの熟議につながることを示すことで、つぎの図への連続性が感じられる。
14	25	○「①豊かな自然・街・食②地域学習③施設④学校教育⑤支援」 → 間に句読点を入れた方が読みやすい 「①豊かな自然・街・食、②地域学習、③施設、④学校教育、⑤支援」
15	27	○表、「・優しさ、思いやり、協働」の欄 「・誰1人取り残さない教育を学ぶ機会(子どもも大人も)」の次に、次の意見を追加していただきたい。 【追加意見】 「一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進」 (理由) ・児童生徒数が減少する中、子どもたち一人一人に対するきめ細かな指導や支援が必要になるため。 ・教育ビジョンや教育大綱の中にも、「特別支援教育の推進」が盛り込まれているため。

16	27	<p>○最後のまとめの部分について 「とりわけ、学校づくりの中心となる学校～保護者、学校運営協議会、教育行政等については 今回の意見等を十分に検討しながら特色ある学校づくりに取り組んで行かれることを強く願う」 と記載がありますが、 ・答申の提出先は教育委員会の教育長かと思われますが、記載される団体等は、この答申を見ることができるのでしょうか？ ・各団体等に強く願うと記載するのは、「それぞれで対応して」と言っていることだと思います。 それぞれの団体等がそれぞれの立場で対応することが妥当なのか？まとめる団体が必要であり、この記載について検討したほうが良いかと思いました。</p> <p>→学校運営協議会、ならびに教育行政等については～学校づくりに向け、ともに協力しながら取り組んでいかれる～</p>
17	28	○1段落目2行目 集団としての規模等 規模等 → 組織・規模的な環境等
18	28	○中段、2つ目の・：なるべく「人数」と「小中一貫」がにつながるイメージが必要 ～～～ 人数との関わりや 学びの質の確保等の観点から 小中一貫教育～～～
19	28	○中段、3つ目の・ ～～～ 生まれて来ること など、「求める子ども像」へつなげていくことを 考えて～～ ○ 「…、その中で主体性なども生まれて来ることも考えていくことも大切である。」 →「…、その中で主体性などが生まれることも考えていく必要がある。」
20	28	○「イ 義務教育の目的・目標の観点」 → アの項目の表記と合わせる「イ 義務教育の目的・目標の観点 から 」
21	29～30	○箇条書きで各委員の意見等を表記しているが、文字だらけで読みづらい印象。小見出し的なキーワードでカテゴリ分けするなどして、視覚的にも目に飛び込んでいく整理があるとよい。(特に「小中一貫教育制度の導入」に係る項目なので、町民の方々にも各委員から出された意見などを理解していただきたい)
22	29	○ 6歳児から15歳児の子供たちが同じ学び舎で学習活動を協働的に取り組む場面があり、子供たち一人一人の 主体性を～～～
23	30	○上段、1つ目・と、2つ目・の記述内容が重なっている印象 一つにまとめて、2つ目の・のみでよいのではないか。
24	30	○ ～～～ メリット、デメリット について 現状と比較して 分析・検証する中で、一貫教育にすることに意味 や価値について考える必要がある。
25	30	○～～～ モデルケースとしてやっていき、 メリットやデメリットを精査しながら 段階的に
26	30	○10年度→10年 後
27	31	○「などの意見がだされていた。」 → 「などの意見が 出 されていた。」
28	31	○ 今回の審議においては、 時代の流れの中で、当初計画と現状の比較分析、将来的なビジョンなどを早急に考える必要があるなどの慎重的な意見はあるものの、概ね～～～
29	31	○ ～～～ 多数 出された と思われる。
30	32	○上の表は(P4の再掲)町内の～ →上の表(P4の再掲) は 町内の～

31	33	○32ページ 児童数減少について虻田地区に比べて洞爺地区(温泉小学校含む)では比較的維持されている部分があるという意見があったと思います。今年度以降の出生児減少について理解していますが、出生率低下を補うために、子育て世代の移住という視点において地域(特に洞爺)に学校があることの重要性について記載していただきたいと思います。
32	33	○10年度→10年後
33	34	※印追加
34	35	○34ページ オ 教育関連～の意見に、36ページ・の4つ目の洞爺湖温泉小学校の建物の有効活用～という意見を追加で入れても良いと思います。
35	36	○使えるのではないだろうか。
36	37	○「(イ)今後の方向性を考える際の視点」の後に()で委員からの意見を含むとあるが、委員の意見の他に、どこからの引用になっているのか。委員の意見と区別できることは可能か。
37	37	○ここから委員の意見も含めて「○」で箇条書きになっているが、それ以前は「・」で表記している。表記の整合性が必要と考える。
38	39	○「校余裕教室への移転する予定である。」→「校余裕教室へ移転する予定である。」
39	39	○「とができなし、…」→「とができないし、…」
40	39	○「…、グラウンドの分譲が考えられる。」 → 前ページの同様の表記と合わせる「グラウンドの分譲地化が考えられる。」
41	40	○<当初想定案>
42	42	○今後の学校の統廃合の枠組みや時期、町の予算、児童生徒数の減少など様々な問題や不確定要素がある中で、全てを満たす解決策は難しい。規模的に可能であるならば同じ町内の児童生徒として同一の給食を提供することが望ましく、壮瞥町と同様、将来的には外部委託(伊達市)が最も持続可能で現実味のある選択肢ではないだろうか。
43	43	○R3実績→R3時点
44	44	○体育館等、その他の施設の社会教育施設部分で、洞爺湖町にある数少ない良い施設。例えば 新しい福祉施設(ウトウラノ)、建物2階の有効活用できる観光施設(とうや水の駅)、見晴らし最高の道の教育施設(虻田高校)の話があり、縦割り行政の弊害がないように行政が横断的視点を持たなければという貴重な意見があったと思います。社会教育施設との協力と利用、複合化については、施設の集約に向けての視点の1番目に挙げられていますが、施設の集約化に強く感じさせられる文章となっており、横断的な視点は具体的な例が上がっていましたので別の意見として記載してはどうかと思います。 ○と効率化→や複合化、複合化→集約化、福祉施設や を追加、集約→複合
45	44	○「(ア)体育館等スポーツ施設」の上の文章 「能な資源を友好的に活用し、」→「能な資源を有効的に活用し、」

全体的な意見

1	○審議の中で、小中一貫制度の導入の方向性については全体の理解が得られたと思います。虻田小学校の校舎に虻田中学校が移転する予定なので、それを小中一貫校のモデル的な取組と位置付けて、そこでの成果や課題を町全体で共有していくことが大切ではないかと考えます。
2	○今後の洞爺湖町の教育の充実は、町全体で町民の皆さんが子どもたちの教育や生涯教育により積極的に参画することにかかっているように思う。本答申が、そのきっかけとして活用されることに期待したい。
3	○今回の答申では、「結論を一つにまとめ上げるのではなく、多面的・多角的な視点を重視し、各委員から出された主な意見等を網羅的に総括する形式で」示したことに賛同しますが、「もう少し方向性を明確に」という意見も最後の会議で出る可能性もあるように思います。
4	Op21に「各委員から出された主な意見等を網羅的に総括する形式で示すことを基本とする」と記載していますが、審議会の記録的な内容となり、答申としての具体に乏しいと感じます。また、「特色ある学校づくりと教育環境の向上の総合的方策」とありますが、教育環境(特に施設等)に関する割合が多く、学校づくりに関する具体が少ないと感じました。
5	○35ページ カ 地域性の意見 本審議会においても虻田地区と洞爺地区の地域性の違いが多く出ていたと思います。教育(学校)にかける地域の住民の関わり、給食に地域が多く関わり食育を大事にしていく思いなど、温度差があったと私は感じました。書きづらい部分ではあると思いますが、洞爺湖町は合併している自治体であるため、学校や教育に対する姿勢、温度差があり特に学校の一本化はなかなか難しい地域性や住民の思いがあることを記載できないでしょうか。
6	○全般に対して、今現在の若い人達の意見を もっと聞いてみたいです。私は本町の小学校、中学校、高校と、地元就職し、結婚を機に 洞爺湖温泉に住み39年、この町と共に過ごしてきました。時代の流れを感じています 今現在洞爺湖町に住んでいる若い人達の望む所は何なのかが、会議に出席していて 情報が無いのが残念です
7	○お忙しいところ答申案をまとめていただきありがとうございました。両極端ではないものの、意見のばらつきが多い部分は教育委員会にてどのような答申として取り扱い方をするのでしょうか？答申案を見て疑問に感じた次第です。なにか方向性を決めるものが答申になるのかと思っていましたので方向性が見えない意見の羅列だと、どのような流れで決定していくのか疑問に思った次第です。上記の意見も含めわかりづらい文章で申し訳ありません。よろしくお願いいたします。
8	○取りまとめは大変な作業だったと思います。ありがとうございました。記載内容に訂正などはありませんが、非常にボリュームがあり、委員以外が検討する際には工夫が必要かと思います。今後の進め方を最後の審議会で話し合っておくといいのではないでしょうか。